

令和6年第1回議会定例会における行政概要報告書
(令和5年11月18日から令和6年2月16日まで)

1 市表彰式典について

11月18日、中央公民館において市表彰式典を行い、各方面で市勢発展や地域住民のためにご尽力いただいた10団体69人（特別奨励表彰1団体2人、自治功労表彰5人、功労表彰38人、善行表彰5団体6人、感謝状4団体18人）を表彰しました。

今年度新設した特別奨励表彰として、団体では、世界最大規模の核融合実験装置「JT-60SA」で、プラズマの生成に初めて成功した国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子エネルギー部門那珂研究所、個人では、パンの世界大会「ibaカップ」に出場した株式会社ぐるぐる代表取締役の栗原 淳平さん、^{くりはらじゅんぺい}「2023 UCIBMX レーシングワールドチャレンジ」に日本代表として出場した白鳥学園瓜連中学校7年生の堀江 樹選手^{ほりえいつき}を表彰しました。

2 市新年賀詞交歓会について

1月12日、中央公民館において、市長、市議会議長、市商工会長及び常陸農業協同組合代表理事組合長が発起人となり市新年賀詞交歓会を開催し、約200人が参加しました。司会は、那珂ふるさと大使でフリーアナウンサーの宮下敏子さん^{みやしたとしこ}に務めていただきました。

3 那珂ふるさと大使について

1月27日、東京都内において那珂ふるさと大使情報交換会を開催し、5人の大使が参加しました。大使の皆様から活動の報告や、それぞれの専門や見識を生かしたご意見をいただきました。

4 いい那珂暮らし応援団体験事業（オフ会）について

12月9日、茨城県立水戸農業高等学校において、市の知名度の向上と活力あるまちづくりの推進を図るため、「いい那珂暮らし応援団体験事業（オフ会）」を開催しました。参加した家族は、水戸農業高等学校の生徒に教わりながら、パンとプリンづくりを体験したり、クイズや抽選会などを行ったりして、那珂市の「いいところ」を感じていただきました。

5 いい那珂マルシェ in IBARAKI sense（イバラキセンス）について

2月8日、9日の2日間、東京都中央区銀座にあるIBARAKI senseにおいて「いい那珂マルシェ in IBARAKI sense」を開催しました。那珂市産のかぼちゃをテーマに、かぼちゃのカタラーナ、かぼちゃの米粉シフォンケーキ、南瓜まんなどのほか、店内BARA cafe^{カフェ}にて那珂市産かぼちゃのキャラメルラテを販売するなど、かぼちゃ商品を中心に展開しました。あわせて、さつまいもや芳野みそを使用したカタラーナやさつまチップスなども販売しました。店内では、つるしびなの展示のほか、販売商品の試食も行い、市のPRと販売の促進を図りました。

6 駅からサイクリングについて

10月1日から12月31日まで、市のPR及び自転車活用の推進を図るため、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社と連携し、市内の観光スポットや飲食店を上菅谷駅から自転車で巡るデジタルスタンプラリーを開催しました。市内外から48人がチェックポイントに訪れ、その内28人がすべてのスタンプを集めました。参加者には、チェックポイントとなっている店舗での特典のほか、全てのチェックポイントでスタンプを集めて応募されたかたには、市内特産品をお送りし、那珂市をPRしました。

7 移住・定住促進に係る取組について

首都圏の住民と移住定住の受け入れを希望する地方の自治体とのマッチングを図るため、1月13日、東京ビッグサイトにおいて開催された「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024」に、いばらき県央地域移住・定住促進協議会の9市町村合同で参加しました。今回は、「いばらき県央VR移住体験ツアー」をVRゴーグルで楽しめる環境を整え、県央地区の移住PRを行ったほか、chatGPTを活用し、移住希望者の希望に合った市町村をAIが判断しマッチングを実施しました。

また、2月4日から、有限会社楠見材木店を就業場所として、いばらき県央地域の魅力発掘ワーキングホリデー事業を実施しました。旬菜CAFÉふ輪りが地域プレーヤーとして参加し、大学生5人に、就労しながらの地域との交流や学びの場を通じての暮らし方を体感してもらい、移住に向けた関係人口創出を図りました。

8 令和6年能登半島（石川県）地震被災地への職員派遣について

1月4日以降、総務省、厚生労働省などから茨城県を通し、能登半島地震被災地への人的派遣の要請を受けました。これらの派遣要請に応じて、これまで職員7名を派遣しました。

主な支援業務としては、避難所における被災住民の健康支援業務、避難所支援業務、罹災証明書発行支援業務、被災住民への応急給水業務となります。今後も引き続き被災地の復興に向け支援を行ってまいります。

9 投票率向上への取組について

2月18日執行の那珂市議会議員一般選挙において、投票率の向上を目的に、選挙に対する関心を高め、市民同士のコミュニケーションの深まりを目的とした「キャッチコピーの公募」を行いました。また、より多くの市民が選挙に参加しやすい環境整備を目的として「商業施設への期日前投票所の設置」を行い、若い世代の政治意識の向上を目的として「高校生の選挙立会人への登用」を新たな取組として実施しました。

10 協まち・カフェについて

各地区まちづくり委員会主催の「ふれあい祭り」の開催に併せ、11月19日に芳野地区、26日に五台地区及び木崎地区において、「協まち・カフェ」を開催しました。今年度は、市内8つの全ての地区で開催し、多数のかたにご来場いただきました。

11 多文化共生セミナーについて

12月10日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、多文化共生セミナーの特別企画として、途上国の現状を描いたヒュー・ジャックマン主演のドキュメンタリー映画「デュカリの夢」を上映しました。当日は多数のかたが来場し、映画鑑賞を通して、途上国の差別や貧困、フェアトレードの重要性などを学び、多文化共生の理解促進を図りました。

2月3日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、多文化共生セミナー「ジンバブエ編」を開催しました。ジンバブエ出身のチメザ・アリエルさんを講師に迎え、ジンバブエの魅力のほか、日本文化との違いなどをお話しいただきました。講演終了後には、アリエルさんを囲んで交流会も開催し、とても楽しい雰囲気のセミナーとなりました。

12 日本語教育ボランティア養成講座について

日本語を母国語としないかたに日本語を教えるボランティアを育成するため、ふれあいセンターよこぼりにおいて、日本語教育ボランティア養成講座を開催しました。12月16日に全7回の講座が終了し、閉講式を行いました。

13 まちづくり人材育成カリキュラムの開催について

2月3日、ふれあいセンターよしのにおいて、女性を対象とした「まちづくり人材育成カリキュラム」を開催しました。講師に有限会社モーハウス代表取締役の光畑由佳さんみつはた ゆかをお招きし、「女性が輝くまちづくり」と題してワークショップ形式でお話しいただきました。現在行っている活動や女性の視点からのまちづくりや社会参加についてお話しいただき、参加者自身で今後何ができるかななどの新たな発見もあり、和やかな雰囲気のもと意見交換が行われました。

14 「怒鳴らない子育て」プログラム講習会について

10月4日から12月6日まで全7回の日程で、中央公民館において、「怒鳴らない子育て」プログラム講習会を実施し、未就学児から小学校低学年の子を持つ父母5人が参加しました。講習会では、家庭児童相談室の家庭相談員が講師となり、「怒鳴らない子育て」をテーマに、子どもとのコミュニケーションの取り方、親としての心の持ち方等を学びました。講習会の最終日には、参加者が講習の感想や日頃の子育ての悩み等を自由に語り合える座談会の場を設定し、お互いの子育てについての思いを共有しました。参加者からは、「自身の体験を皆で共有できてよかった」「自分のよくない言動に気付かされるきっかけとなった」「講習で習ったことを自身の子育てに生かしたい」等の感想が聞かれました。

15 環境にやさしい農業推進セミナーについて

11月21日、総合センターらぼーるにおいて、常陸農業協同組合員、就農支援アドバイザー、認定農業者、フェルミエ那珂会員、関係機関の45人が参加し、パイオニアエコサイエンス株式会社の川崎智弘氏かわさき ともひろの「適切な施肥による栽培環境の変化について」をテーマにした講演や、関東農政局による「農業を取り巻く環境とみどりの食料システム戦略について」、茨城県県央農林事務所による「いばらきみどり認定について」の制

度の説明を受け、適切な肥料の使い方や環境負荷軽減に向けた取組について研修を行いました。

16 静峰ふるさと公園イルミネーション2023について

12月2日から25日まで、「静峰ふるさと公園イルミネーション2023」を開催し、延べ11,200人が来園しました。

17 市産業祭について

12月3日、宮の池公園グラウンド内において、市産業祭実行委員会の主催による「那珂市産業祭」が開催されました。当日は、ガヤガヤ☆カミスガと初めて合同開催されたことにより、約15,000人の来場者で賑わいました。

18 学校教育の情報化の推進について

緑桜学園とわかすぎ学園が国の事業指定を受け、全国の学校教育におけるDX推進のモデルとなる取組の研究を行いました。オンライン授業やタブレットによる家庭学習をはじめ、特別支援教育や校務への活用など、多様な観点から研究を進め、その成果をオンライン等で開催した授業研究会で発表しました。

19 中学校給食での台湾バナナの提供について

12月6日、市内5校の中学校給食において、台湾バナナを提供しました。本市とゆかりがある台湾との食を通じた文化交流を実施することで、生徒たちが台湾に親しみや関心を持ち、他の国や地域の人々を尊重し理解する国際教育の機会となりました。

20 子ども会情報交換会について

11月19日、中央公民館において、「子ども会情報交換会」を開催しました。交換会では、子ども会活動の課題を共有し、今後の子ども会運営の問題を解決するため、瓜連地区ひまわり子ども会の事例紹介や子ども会の現状・課題について情報交換を行いました。

21 公民館まつり2023について

11月25日、26日の2日間、中央公民館において、「公民館まつり2023」を開催し、参加した23団体がステージ発表や展示を通して生涯学習の成果を披露したほか、各種体験講座を実施しました。また、障がい者就労支援事業所によるバザーや消防車両、警察車両の展示なども行い、多くの来場者で賑わいました。

22 那珂市冬季駅伝大会について

12月4日、なかLuckyFM公園において、「第61回市冬季駅伝競走大会」を開催しました。市内各小中学校代表、部活動代表、一般の計73チーム、517人が参加しました。また、今大会から係員として一般ボランティアを募集し、14人に協力いただきました。

23 「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式典について

12月9日、総合センターらぼーるにおいて、「家庭の日」図画・作文発表並びに表彰式典を開催し、市内小中学校から図画606点、作文871点の応募があった中から、作文の金賞受賞者による発表と図画・作文入賞者の表彰を行いました。

なお、わかすぎ学園菅谷東小学校3年生の図画作品は、公益社団法人茨城県青少年育成協会主催の「家庭の日」絵画・ポスターにおいて最優秀賞を受賞しています。

24 白鳥学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）SDGs講演会について

12月15日、白鳥学園学校運営協議会主催で、SDGs講演会「ヤングケアラーってなんだろう」を開催しました。白鳥学園の5年生から8年生が参加し、講師のひたちなか市教育研究所スクールソーシャルワーカーの岩田健^{いわたけん}氏から、身近にあるヤングケアラーの問題について学びました。

25 二十歳の集いについて

1月6日、中央公民館において、「二十歳の集い」を開催しました。式典やアトラクションを行い、対象者525人中409人（77.90%）が出席しました。

26 家庭教育学級第3回合同学習会について

1月27日、総合センターらぼーるにおいて、「家庭教育学級第3回合同学習会」を開催し、87人が参加しました。講師の特定非営利活動法人ビーンズふくしまの江藤大裕^{えとうだいすけ}氏の「子どもたちを支えるために家庭でできる大切なこと」と題した講演により、子どもの居場所を作る大切さ、家庭教育の必要性を学びました。

27 第11回いばらきっ子郷土検定県大会について

2月3日、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、「第11回いばらきっ子郷土検定県大会」が開催され、2年連続出場となる青遙学園第二中学校からは、代表として8年生5人が出場し、優秀賞を受賞しました。

28 第4次那珂市読書活動推進計画について

「第3次那珂市読書活動推進計画」が今年度で満了となるため、令和6年度から10年度までの5年間の計画となる「第4次那珂市読書活動推進計画」を策定しました。計画は、ホームページで公表します。

29 茨城ロボッツホームゲーム「那珂市の日」について

2月7日、アダストリアみとアリーナにおいて、マザータウン協定を締結している茨城ロボッツのホームゲームにあわせ、市のPRイベント「那珂市の日」が開催されました。会場では、市特産品が当たるクイズや市のパンフレット等の配布など、来場者に市のPRを行いました。

30 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として20回行い、1,293人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。

また、応急手当普及のため救命講習会等を8回行い、179人が修了しました。

火災出場件数については8件、救急出場件数については391件となっています。

1月25日、茨城県立消防学校において、「茨城県消防ポンプ操法競技中央大会」が開催され、那珂市から県北地区大会ポンプ車操法の部で優勝した第6分団(五台地区)が出場し、県内6地区の優勝チームが日頃の訓練成果を競い合いました。

1月14日、なかLuckyFM公園において、消防出初式を行い、消防職員及び団員約500人が参加し、地域防災への決意も新たに士気の高揚を図りました。

1月26日、阿弥陀寺において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。貴重な文化財を火災等の災害から守るために、消防職員及び団員が連携し、放水活動を行いました。

令和6年3月11日

那珂市長 **先崎 光**